

5. 環境モニタリング調査計画の変更

■5-1 出水期施工に伴う環境モニタリング調査計画の変更



出水期施工を実施する場合、環境モニタリング調査計画を以下のように変更する。

■環境モニタリング調査計画の変更案

調査項目		調査時期（変更前）	調査時期（変更後）	
水質調査	定期水質調査	生活環境項目	年12回（濁水期間＋出水期間）	
		健康項目	年4回（6月、9月、12月、3月）	
	工事稼働日調査	工事稼働日（濁水期間）	工事稼働日（濁水期間＋出水期間）	
	海苔養殖場近傍調査	生活環境項目	年9回（6月、9月、濁水期間）	変更無し
		濁水	工事中の海苔養殖時期	変更無し
地形調査	深浅測量、干潟地形測量	年2回（6月、10月）	変更無し	
	地盤高計測	年7回（濁水期間）	年12回（濁水期間＋出水期間）	
底生生物・底質調査	潮下帯定量調査	年2回（6月、10月）	変更無し	
	潮間帯定量調査			
	付着生物調査			
鳥類調査	生息状況調査	年4回（4月、5月、9月、1月）	変更無し	
	飛翔状況調査			
魚類調査		年2回（6月、10月）	変更無し	

※濁水期間：11月～翌年5月、出水期間：6月～10月

■5-2 出水期施工に伴う環境モニタリング調査計画の変更

■環境モニタリング調査計画の変更案（※赤字箇所を追加）

調査項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
水質調査	定期水質調査	生活環境項目	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		健康項目			●			●		●			●	
	工事稼働日調査		●											
	海苔養殖場近傍調査	生活環境項目	●	●	●			●		●	●	●	●	●
濁水		●												
地形調査	深浅測量、干潟地形測量				●				●					
	地盤高計測		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
底生生物・底質調査	潮下帯定量調査													
	潮間帯定量調査				●				●					
	付着生物調査													
鳥類調査	生息状況調査		●	●				●			●			
	飛翔状況調査													
魚類調査				●				●						

海苔養殖場近傍調査について、
 ・スジアオノリの養殖時期：年11月1日～翌年1月31日
 ・クロノリの養殖時期：平成27年11月1日～平成28年3月31日

■5-3 水質調査



- ①定期水質調査のうち、生活環境項目は濁水期間中に毎月計測を行っていたため、**出水期も同様に毎月計測**する。健康項目については、濁水期の2回（12月、3月）と整合を図るため、**9月の調査を追加**して年4回とする。
- ②工事稼働日調査は、工事稼働日に日々計測しており、出水期施工に伴って**出水期間の工事稼働日も実施**する。
- ③海苔養殖場近傍調査は、出水期に海苔養殖を実施しないため、現状維持とする。

■調査地点



■定期水質調査

調査名	調査項目	調査箇所	時期・頻度
定期水質調査	生活環境項目	W-1～7	年 12 回（濁水期間+ 出水期間 ）
	健康項目	W-2	年 4 回（6月、 9 月、12月、3月）

■工事稼働日調査

調査名	調査項目	調査箇所	時期・頻度
工事稼働日調査	濁水	W-1～7	<ul style="list-style-type: none"> ・工事稼働日※1（濁水期間+出水期間） ・8時～17時の上げ潮・下げ潮時にそれぞれ測定※2

※1：工事の日常管理のための施工地点での濁水調査は、工事稼働日に実施する。
 ※2：汚濁拡散防止膜内では、下部工施工による濁水の発生状況を踏まえて、適宜濁度の測定を行う。

■海苔養殖上近傍調査

調査名	調査項目	調査箇所	時期・頻度
海苔養殖上近傍調査	生活環境項目	WL-1～3	年 9 回（濁水期間+6月、9月）
	濁水	WL-1～3	工事中の海苔養殖時期※1

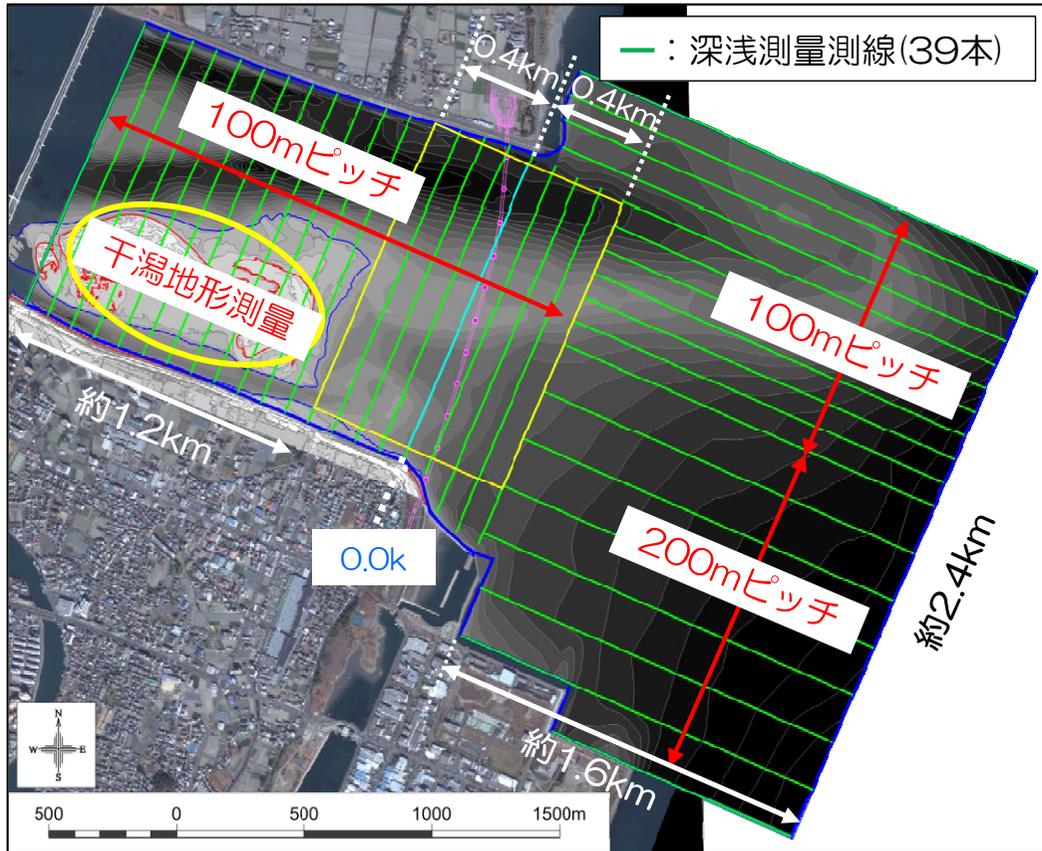
※1：スジアオノリの養殖時期：平成27年11月1日～平成28年1月31日、平成28年11月1日～平成29年1月31日、クロノリの養殖時期：平成27年11月1日～平成28年3月31日、平成28年11月1日～平成29年3月31日。

5-4 地形調査



- ① 深浅測量と干潟地形測量は、工事後（6月）と工事前（10月）の地形の動きを把握するための調査であるため、現状維持とする。
- ② 浚渫箇所の地盤高計測は、工事期間中に浚渫箇所を毎月計測することで、浚渫後の地形の動きを監視していた。出水期施工に伴い、**出水期間中も毎月調査を実施する。**

調査地点



※測線の間隔は100mを基本とし、沖合の河口テラスより以南は200m間隔の測線とする。

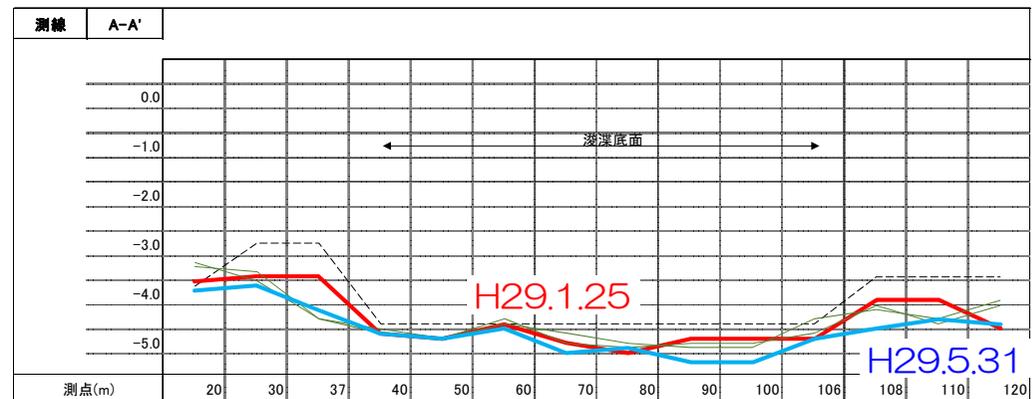


地形調査

調査名	調査項目	時期・頻度
地形調査	深浅測量	年2回（6月、10月）
	干潟地形測量	
	浚渫箇所の地盤高計測	年12回（毎月1回）

※浚渫箇所の地盤高計測は、浚渫の実施状況によって頻度が変化するため、最大で12回ということである。

浚渫箇所の地盤高計測の例



- 浚渫後に計測した地形
- 月1回に計測した地形
- 濁水期の最後に計測した地形
- - - 計画時の浚渫の目標